

いなば泰子 ニュース



民間マンション補助より

市営住宅の充実を

民間マンション建設に約二十五億円も補助金を出す岡山市で、市営住宅に入居希望が激増し入居は難しくなっています。この問題を、九月の市議会できりあげた稲葉市会議員に聞いてみました。

市営住宅の入居希望者が増えています。岡山市は三二〇七戸の市営住宅があり、毎年三回、入居の抽選を行なっています。ちなみに今年第一回の抽選では、五〇戸の募集に五六〇人が申し込みました。昨年一年間は、一六〇戸募集で二〇八六人が応募しています。そのうち一〇〇一人が優先対象なので、実質倍率は一六・一七倍でした。高齢者・障害者・母子所帯は入居条件が優遇されますが、一〇数倍という応募者があるので、優遇は全く絵に描いた餅になっています。

私は、九月市議会で、公営住宅法の精神に照らしても、市営住宅の役目を果たしていないのではないかと、と当局をたどりました。

名古屋市では、三つの優遇制度を設け、困った人に優先的に住居の提供をと、市営住宅の充実にとりくんでいます。抽選に落ちた人を対象に、空家を



市営住宅の実情を聞く稲葉市会議員

待機者向け住宅として提供する方式をとっています。また、民間住宅を借り上げ、市営住宅として募集を行なっています。

「名古屋方式をとり入れます」という答弁があつたので、一歩前進とは思いますが、早く実施していただきたいものです。

岡山市は、市内中心部に三ヶ所もの

乳幼児医療費無料化の年齢拡大が少し動きました。岡山市長は、六月二日、子どもの医療費を無料にという市民の強い声をうけて、総合政策審議会に諮問しました。

乳幼児医療無料化に動

しかし、玉野市、灘崎町、御津町との合併・政令市を視野に入れて平成十七年度までに答を出す予定です。合併・政令市の関係とは切り離して、早く実現してほしいものです。

なお、日本共産党員町長の金光町では、一〇歳まで無料にすることが決まりました。

マンション建設に補助金を出そうとし、その総額は二十五億円といわれています。それだけの金額があれば、本当に困っている人を助けることができます。はずです。

第17回
 ガレージ・セール
 10月25日 (土)
 10:00~12:00
 高島野新所前

会期もあは休
 議月号は刊
 定期9月刊
 例もあは休
 議月号は刊